

東日本大震災から5年を迎えて

2011年3月11日マグニチュード9の大震災と大津波が日本の東北地方を襲った。死者1万5500人、行方不明者5300人、55万人が避難生活を強いられた大災難に見舞われた。

汚れなきマリア修道会のシスター吉村が2012年9月から岩手県大船渡のカリタスベースのスタッフとして入った。ここには、沢山のボランティアが世界中から訪れた。

シスターは、その方々のお世話、仮設住宅を訪問して様々なお手伝いなど多面的な仕事をこなしてきた。マリアニストのメンバも訪れて手伝いをしたり、現地の方が創ったものを東京で販売したり、物心両面で協力した。

80代以上の残された方々が、シスターの十字架を見て、死後の世界について語ることもあった。

「皆、同じところに行くから安心して」というと、納得したようにうなずいていた。生死の境を体験された方々との話し合いを通して、「隣人とはだれか?」「今、大切にすべきことは何か?」などを考えさせられた。

5年の歳月が過ぎたが、復興には時間がかかり、いまだに仮設住宅の生活を強いられておられる方々がいる。



漁業のボランティア（カキの整理）



ボランティアの学生と近所の子供たち



ボランティアの方の
イタリア料理と近所の方々

カリタスベースの開所3周年
感謝のミサ

